科目コード	9124	単位数	2	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本語Ｉａ（総合）				
科目英語名	Japanese Ｉａ（comprehensive）				
担当教員	伊藤　美枝子				
学修内容	学んだことから、読む・書く・聞く・話すことに広げる。				
学修成果	日常生活やキャンパス内の限られた場面で、日本語で書かれたものを読んだり、書いたり、聞いたり、話したりできる。				
授業計画	１）第１２課（四技能別に） ２）第１２課（四技能を総合的に） ３）第１３課（四技能別に） ４）第１３課（四技能を総合的に） ５）第１５課（四技能別に） ６）第１５課（四技能を総合的に） ７）第１８課（四技能を別に） ８）第１８課（四技能を総合的に） ９）話す練習 １０）奈良について見聞きする（学外） １１）第２１課（四技能を別に） １２）第２１課（四技能を総合的に） １３）第２５課（四技能を別に） １４）第２５課までの復習とまとめ １５）第２９課（四技能を別に） １６）第２９課（四技能を総合的に） １７）第３０課（四技能を別に） １８）第３０課（四技能を総合的に） １９）第３２課（四技能を別に） ２０）第３２課（四技能を総合的に） ２１）第３３課（四技能を別に） ２２）第３３課（四技能を総合的に） ２３）第３５課（四技能を別に） ２４）第３５課（四技能を総合的に） ２５）第３７課（四技能を別に） ２６）第３７課（四技能を総合的に） ２７）第３８課（四技能を総合的に） ２８）第４０課（四技能を別に） ２９）第４０課（四技能を総合的に） ３０）まとめとふりかえり				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習しておく。				
教科書	「みんなの日本語　初級Ｉ第２版」ISBN978-4-88319-603-6 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版」ISBN978-4-88319-646-3				
参考書	「みんなの日本語　初級Ｉ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-604-3 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-664-7				
成績評価方法・基準	授業参加度（60%）　課題の達成度（40%）				
備　　考					

科目コード	9126	単位数	2	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本語Ｉｂ（総合）				
科目英語名	Japanese Ｉｂ（comprehensive）				
担当教員	伊藤　美枝子				
学修内容	N3 レベルの読む・書く・聞く・話すための日本語を学ぶ。				
学修成果	授業で読んだり聞いたりして得た情報について、相手に配慮した表現で話せる。				
授業計画	１）第１課　お願いする ２）提案する（基礎） ３）第２課　質問する ４）提案する（応用） ５）第３課　理由を述べて要望を出す ６）説明する ７）第４課　伝言を頼む ８）第５課　行き方を聞く、伝える ９）自分の意見を述べる １０）第６課　話しかける １１）意見を言う（賛成する、同調する） １２）第７課　要望を出す １３）意見を言う（反論する、批判する） １４）第８課　人の外見について説明する １５）インタビューの準備 １６）第９課　比較して述べる １７）インタビューをする １８）第１０課　間違いを指摘する １９）説明する（パワーポイントの準備） ２０）第１１課　勧められて答える ２１）説明する（パワーポイントを使って） ２２）第１２課　謝る ２３）話し合う（友達と） ２４）話し合う（会議で） ２５）病院でのやりとり（症状を伝える） ２６）冠婚葬祭のあいさついろいろ ２７）相手や状況に合わせたお礼の言い方 ２８）場面に合わせた自己紹介 ２９）発表の準備 ３０）発表する				
準備学習	前の週に学んだことを普段の生活でもよく使い、いつでも使えるようにして授業に出ること。				
教科書	『みんなの日本語　中級Ｉ本冊』ISBN978-4-88319-468-1 授業で資料を配付				
参考書	『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』ISBN978-4-7574-1886-8 『マンガで学ぶ日本語会話術』ISBN978-4-1108-1				
成績評価方法・基準	授業参加度（80%）　課題の達成度（20%）				
備　　考					

科目コード	9128	単位数	2	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本語Ⅱa（読解）				
科目英語名	Japanese Ⅱa（reading comprehension）				
担当教員	青野　潤子				
学修内容	文字であらわされたものを通して、日本語運用能力をつける。				
学修成果	学習した文法項目や語彙、表記を生かし、学習範囲に合わせてリライトされた文章が読める。				
授業計画	１）第１２課までの復習 ２）第１２課までのまとめ ３）第１４課まで（導入） ４）第１４課まで（練習） ５）第１６課まで（既習の文法・語彙・表記を生かした読解） ６）第１６課までの復習 ７）第１８課まで（導入） ８）第１８課まで（練習） ９）第２０課まで（既習の文法・語彙・表記を生かした読解） １０）第２０課までの復習 １１）第２２課まで（導入） １２）第２２課まで（練習） １３）第２４課まで（既習の文法・語彙・表記を生かした読解） １４）第２４課までのまとめ １５）第２６課まで（導入） １６）第２６課まで（練習） １７）第２８課まで（既習の文法・語彙・表記を生かした読解） １８）第２８課までの復習 １９）第３０課まで（導入） ２０）第３０課まで（練習） ２１）第３２課まで（既習の文法・語彙・表記を生かした読解） ２２）第３２課までの復習 ２３）第３４課まで（導入） ２４）第３４課まで（練習） ２５）第３６課まで（既習の文法・語彙・表記を生かした読解） ２６）第３６課までの復習 ２７）第３８課まで（導入） ２８）第３８課まで（練習） ２９）第４０課まで（既習の文法・語彙・表記を生かした読解） ３０）第４０課までのまとめ				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習しておく。				
教科書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第２版」ISBN978-4-88319-603-6 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版」ISBN978-4-88319-646-3				
参考書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-604-3 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-664-7				
成績評価方法・基準	授業参加度（60%）　課題の達成度（40%）				
備　　考					

科目コード	9130	単位数	2	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本語Ⅱb（読解）				
科目英語名	Japanese Ⅱb（reading comprehension）				
担当教員	青野　潤子				
学修内容	文章を読み解くことを通して、日本語の理解を深める。				
学修成果	2000 字程度の中級レベルの文章が辞書を使いながら正確に読み取れる。 先を推測しながら読み進むことができる。 ニュース性のあるやや容易な文章がだいたい理解できる。				
授業計画	１）速読　天気予報の記事（易） ２）精読　第１課　説明文 ３）速読　天気予報の記事（やや難） ４）精読　第２課　各段落の初めの言葉に注目する ５）速読　身近な話題の記事（易） ６）精読　第３課　グラフを見ながら読む ７）速読　事件・事故の記事（易） ８）精読　第６課　意見文 ９）速読　経済関連の記事（易） １０）精読　第１～６課までのまとめ １１）速読　経済関連の記事（やや難） １２）精読　第８課　状況を予想しながら読む １３）速読　政治関連の記事（易） １４）精読　第１０課　ある想定をしながら読む １５）速読　政治関連の記事（やや難） １６）精読　第１１課　固有名詞の多い文章を読む １７）速読　身近な話題の記事（難） １８）精読　第７～１２課の復習 １９）速読　事件・事故の記事（難） ２０）精読　小説を読む ２１）速読　経済関連の記事（難） ２２）精読　小説を読む ２３）速読　政治関連の記事（難） ２４）精読　やや長い説明文（前半） ２５）速読　日本の新聞に目を通す ２６）精読　やや長い説明文（後半） ２７）速読　インターネットの記事を読む（前半） ２８）精読　やや長い文章（前半） ２９）速読　インターネットの記事を読む（後半） ３０）精読　やや長い文章（後半）				
準備学習	学習した語彙や表現をよく理解し、使い方も覚える。 精読は予習をしておく。				
教科書	「みんなの日本語　中級Ⅰ本冊」ISBN978-4-88319-468-1 授業で資料を配付				
参考書	「新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典」ISBN978-4-7574-1886-8 「[改訂新版] 新聞で学ぶ日本語」ISBN978-4-7890-1282-9				
成績評価方法・基準	授業参加度（50%）　課題の達成度（50%）				
備　　考					

科目コード	9132	単位数	2	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本語Ⅲa（文法）				
科目英語名	Japanese Ⅲa（grammar）				
担当教員	竹見　公仁子				
学修内容	テキストの文型・文法を理解し運用できるように練習する				
学修成果	テキストの文法項目をよく理解し、「読む・書く・聴く・話す」状況において、十分運用できる				
授業計画	１）第 41 課までの基礎 ２）　〃　　応用 ３）　〃　　まとめ ４）第 42 課までの基礎 ５）　〃　　応用 ６）　〃　　まとめ ７）第 43 課までの基礎 ８）　〃　　応用 ９）　〃　　まとめ １０）第 44 課までの基礎 １１）　〃　　応用 １２）　〃　　まとめ １３）第 45 課までの基礎 １４）　〃　　応用 １５）　〃　　まとめ １６）第 47 課までの基礎 １７）　〃　　応用 １８）　〃　　まとめ １９）第 48 課までの基礎 ２０）　〃　　応用 ２１）　〃　　まとめ ２２）第 49 課までの基礎 ２３）　〃　　応用 ２４）　〃　　まとめ ２５）第 50 課までの基礎 ２６）　〃　　応用 ２７）　〃　　まとめ ２８）中級への準備　基礎編 ２９）　〃　　応用編 ３０）今学期のまとめ				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習し、使えるようにしておく				
教科書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第 2 版」ISBN978-4-88319-603-6 「みんなの日本語　初級Ⅱ第 2 版」ISBN978-4-88319-646-3				
参考書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第 2 版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-604-3 「みんなの日本語　初級Ⅱ第 2 版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-664-7				
成績評価方法・基準	授業参加度（60%）　　課題の達成度（40%）				
備　　考					

科目コード	9134	単位数	2	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本語Ⅲb（文法）				
科目英語名	Japanese Ⅲb（grammar）				
担当教員	竹見　公仁子				
学修内容	テキストの文型・文法を理解し、運用できるように練習する				
学修成果	テキストの N3 レベルの文法項目を文章や聞いた中でよく理解し、十分運用できる				
授業計画	１）第１課　行為の対象（前半） ２）　〃　（後半） ３）第２課　目的・手段・媒介（前半） ４）　〃　（後半） ５）第３課　起点・終点・限界・範囲（前半） ６）　〃　（後半） ７）第４課　時点・場面（前半） ８）　〃　（後半） ９）第５課　時間的同時性・時間的前後関係（前半） １０）　〃　（後半） １１）第６課　進行・相関関係（前半） １２）　〃　（後半） １３）第７課　付帯・非付帯（前半） １４）　〃　（後半） １５）第８課　限定（前半） １６）　〃　（後半） １７）第９課　非限定、付加（前半） １８）　〃　（後半） １９）第 10 課　比較・程度・対比（前半） ２０）　〃　（後半） ２１）第 11 課　判断の立場、評価の視点（前半） ２２）　〃　（後半） ２３）第 12 課　基準（前半） ２４）　〃　（後半） ２５）第 13 課　関連、対応（前半） ２６）　〃　（後半） ２７）第 14 課　無関係・無視・例外（前半） ２８）　〃　（後半） ２９）第 15 課　例示（前半）				
準備学習	理解するのが難しい表現や語彙もあるが、例文に目を通して知らない語彙を調べておく				
教科書	『どんなときどう使う 日本語表現文型 500』ISBN978-4-7574-1890-5				
参考書	『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』ISBN978-4-7574-1886-8				
成績評価方法・基準	授業参加度　（40%）　課題の達成度　（60%）				
備　考					

科目コード	9136	単位数	2	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本語Ⅳa（文字・語彙）				
科目英語名	Japanese Ⅳa（letter・vocabulary）				
担当教員	竹見　公仁子				
学修内容	テキストの文字・語彙を理解し運用できるように練習する				
学修成果	テキストの文字・語彙をよく理解し、「読む・書く・聴く・話す」状況において、十分運用できる				
授業計画	１）第 12 課まで ２）　〃　　言葉と漢字の導入 ３）第 14 課まで ４）　〃　　言葉と漢字の導入 ５）第 16 課まで ６）　〃　　言葉と漢字の導入 ７）第 18 課まで ８）　〃　　言葉と漢字の導入 ９）第 20 課まで １０）　〃　　言葉と漢字の導入 １１）第 22 課まで １２）　〃　　言葉と漢字の導入 １３）第 24 課まで １４）　〃　　言葉と漢字の導入 １５）第 26 課まで １６）　〃　　言葉と漢字の導入 １７）第 28 課まで １８）　〃　　言葉と漢字の導入 １９）第 30 課まで ２０）　〃　　言葉と漢字の導入 ２１）第 32 課まで ２２）　〃　　言葉と漢字の導入 ２３）第 34 課まで ２４）　〃　　言葉と漢字の導入 ２５）第 36 課まで ２６）　〃　　言葉と漢字の導入 ２７）第 38 課まで ２８）　〃　　言葉と漢字の導入 ２９）第 40 課まで ３０）　〃　　言葉と漢字の導入とまとめ				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習し、使えるようにしておく				
教科書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第 2 版」ISBN978-4-88319-603-6 「みんなの日本語　初級Ⅱ第 2 版」ISBN978-4-88319-646-3				
参考書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第 2 版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-604-3 「みんなの日本語　初級Ⅱ第 2 版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-664-7				
成績評価方法・基準	授業参加度（60%）　　課題の達成度（40%）				
備　　考					

科目コード	9138	単位数	2	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本語Ⅳb（文字・語彙）				
科目英語名	Japanese Ⅳb（letter・vocabulary）				
担当教員	竹見　公仁子				
学修内容	テキストの文字・語彙を学び、運用できるように練習する				
学修成果	N3 レベルの文字・語彙を読んだり聞いたりした中で理解し、正しく運用できる				
授業計画	１）漢字語彙　第１、２回 ２）第１課の総括 ３）漢字語彙　第３、４回 ４）第２課の総括 ５）漢字語彙　第５、６回 ６）第４課　語彙を学ぶ ７）第５課　文章の中の語彙 ８）漢字語彙　第７回 ９）第６課の総括 １０）漢字語彙　第８回 １１）第８課の語彙を学ぶ １２）漢字語彙　第９回 １３）第９課　文章の中の語彙 １４）漢字語彙　第 10、11 回 １５）第 11 課の語彙を学ぶ １６）漢字語彙　第 12、13 回 １７）第 12 課　文章の中の語彙 １８）漢字語彙　第 14、15 回 １９）小説の中の語彙（前半） ２０）漢字語彙　第 16、17 回 ２１）小説の中の語彙（後半） ２２）漢字語彙　第 18、19 回 ２３）説明文の中の語彙（前半） ２４）漢字語彙　第 20 回 ２５）説明文の中の語彙（後半） ２６）漢字語彙　第 21、22 回 ２７）意見文の中の語彙（前半） ２８）漢字語彙　第 23、24 回 ２９）意見文の中の語彙（後半） ３０）漢字語彙　第 25 回				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習しておく				
教科書	『みんなの日本語　中級Ⅰ本冊』ISBN978-4-88319-468-1 『新完全マスター　漢字　日本語能力試験 N3』　ISBN978-4-88319-688-3				
参考書					
成績評価方法・基準	授業参加度　（80%）　課題の達成度　（20%）				
備　　考					

科目コード	9140	単位数	2	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本語Ｖａ（聴解）				
科目英語名	Japanese Ｖａ（listening）				
担当教員	青野　潤子				
学修内容	耳から得たことを話す・読む・書くことに広げる。				
学修成果	日常生活やキャンパス内の限られた場面で、日本語でアナウンスされたもの、他の人の話が理解できる。				
授業計画	１）第１２課までの聞き取り練習（テキストのＣＤを使用） ２）第１４課まで（テキストのＣＤを使用） ３）第１４課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ４）第１６課まで（テキストのＣＤを使用） ５）第１６課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ６）第１８課まで（テキストのＣＤを使用） ７）第１８課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ８）第２０課まで（テキストのＣＤを使用） ９）第２０課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） １０）第２２課まで（テキストのＣＤを使用） １１）第２２課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） １２）第２４課まで（テキストのＣＤを使用） １３）第２４課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） １４）第２６課まで（テキストのＣＤを使用） １５）第２６課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） １６）第２８課まで（テキストのＣＤを使用） １７）第２８課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） １８）第３０課まで（テキストのＣＤを使用） １９）第３０課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ２０）第３２課まで（テキストのＣＤを使用） ２１）第３２課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ２２）第３４課まで（テキストのＣＤを使用） ２３）第３４課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ２４）第３６課まで（テキストのＣＤを使用） ２５）第３６課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ２６）第３８課まで（テキストのＣＤを使用） ２７）第３８課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ２８）第４０課まで（テキストのＣＤを使用） ２９）第４０課までの聞き取り練習（ＣＤを使った宿題の確認） ３０）ディスカッション				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習しておく。 普段から聞いたことをメモし、自分の考えを書くようにする。				
教科書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第２版」ISBN978-4-88319-603-6 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版」ISBN978-4-88319-646-3				
参考書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-604-3 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-664-7				
成績評価方法・基準	授業参加度（80%）　課題の達成度（20%）				
備　　考					

科目コード	9142	単位数	2	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本語Ｖb（聴解）				
科目英語名	Japanese Ｖb（listening）				
担当教員	青野　潤子				
学修内容	耳から得た情報をもとに、話す・書く・読む活動に広げる。				
学修成果	日常生活やキャンパス内で専門分野以外のやりとりが理解できる。 講義の一部が理解でき、メモがとれる。 日本語能力試験 N3 レベルの聞き取りができる。				
授業計画	１）天気のニュース（易） ２）Ｎ３の聴解　＜課題を理解する＞（易） ３）天気のニュース（やや難） ４）Ｎ３の聴解　＜課題を理解する＞（やや難） ５）身近な話題のニュース（易） ６）Ｎ３の聴解　＜ポイントを理解する＞（易） ７）身近な話題のニュース（やや難） ８）事件・事故のニュース（易） ９）Ｎ３の聴解　＜ポイントを理解する＞（やや難） １０）事件・事故のニュース（やや難） １１）Ｎ３の聴解　＜概要を理解する＞（易） １２）経済関連のニュース（易） １３）Ｎ３の聴解　＜概要を理解する＞（やや難） １４）経済関連のニュース（やや難） １５）Ｎ３の聴解　＜発話表現を選択する＞（易） １６）政治関連のニュース（易） １７）Ｎ３の聴解　＜発話表現を選択する＞（やや難） １８）政治関連のニュース（やや難） １９）Ｎ３の聴解　＜即時応答＞（易） ２０）身近な話題のニュース（やや長め） ２１）Ｎ３の聴解　＜即時応答＞（やや難） ２２）事件・事故のニュース（やや長め） ２３）Ｎ３の聴解　復習 ２４）経済関連のニュース（やや長め） ２５）講義を聞いてメモを取る（前半） ２６）政治関連のニュース（やや長め） ２７）講義を聴いてメモを取る（後半） ２８）ニュースの聴解を振り返る ２９）講義で聞いたことを伝える（前半） ３０）講義で聞いたことを伝える（後半）				
準備学習	前の週に学んだことをノートにまとめたり、語彙リストを作ったりして、自分の財産をカタチにして残す。				
教科書	授業で資料を配付				
参考書	「新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典」ISBN978-4-7574-1886-8 「聴くトレーニング　〈聴解・聴読解〉基礎編」ISBN978-4-88319-371-4 「[改訂新版] 新聞で学ぶ日本語」ISBN978-4-7890-1282-9				
成績評価方法・基準	授業参加度（80%）　課題の達成度（20%）				
備　　考					

科目コード	9144	単位数	2	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本語VIa（作文・小論文）				
科目英語名	Japanese VIa（composition）				
担当教員	竹見　公仁子				
学修内容	テキストの文型・文法、文型・文法などを理解し運用できるように練習する				
学修成果	テキストの文型・文法、文型・文法などを使って、自分の考えや事実を文章で表現できる				
授業計画	１）第 12 課まで ２）　〃　　文型・文法を使った作文 ３）第 14 課まで ４）　〃　　文型・文法を使った作文 ５）第 16 課まで ６）　〃　　文型・文法を使った作文 ７）第 18 課まで ８）　〃　　文型・文法を使った作文 ９）第 20 課まで １０）　〃　　文型・文法を使った作文 １１）第 22 課まで １２）　〃　　文型・文法を使った作文 １３）第 24 課まで １４）　〃　　文型・文法を使った作文 １５）第 26 課まで １６）　〃　　文型・文法を使った作文 １７）第 28 課まで １８）　〃　　文型・文法を使った作文 １９）第 30 課まで ２０）　〃　　文型・文法を使った作文 ２１）第 32 課まで ２２）　〃　　文型・文法を使った作文 ２３）第 34 課まで ２４）　〃　　文型・文法を使った作文 ２５）第 36 課まで ２６）　〃　　文型・文法を使った作文 ２７）第 38 課まで ２８）　〃　　文型・文法を使った作文 ２９）第 40 課まで ３０）　〃　　文型・文法を使った作文とまとめ				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習し、使えるようにしておく				
教科書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第 2 版」ISBN978-4-88319-603-6 「みんなの日本語　初級Ⅱ第 2 版」ISBN978-4-88319-646-3				
参考書	「みんなの日本語　初級Ⅰ第 2 版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-604-3 「みんなの日本語　初級Ⅱ第 2 版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-664-7				
成績評価方法・基準	授業参加度（60%）　　課題の達成度（40%）				
備　　考					

科目コード	9146	単位数	2	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本語VIb（作文・小論文）				
科目英語名	Japanese VIb（composition）				
担当教員	竹見　公仁子				
学修内容	テキストの文章をよく理解し、自力で同じように表現できるよう練習する				
学修成果	既習の文型・文法、文字・語彙を正確に使用して文章で表現できる				
授業計画	１）作文例を検討しながら読む ２）第１課　説明文の表現を学ぶ ３）意見文の書き出し ４）第２課　段落構成を学ぶ ５）意見文のまとめ、文末表現 ６）第３課　グラフの解説文について ７）ある出来事を説明する（前半） ８）第４課　文章の中の会話文 ９）第５課　比較しながら書く １０）ある出来事を説明する（後半） １１）第６課　わかりやすい表現を学ぶ １２）説明文のまとめ １３）第７課　会話文を書く １４）二項対立の文章を書く（前半） １５）第９課　ある人物について説明する １６）二項対立の文章を書く（後半） １７）第 10 課　論理的な文章を学ぶ １８）レポートを書くためのデータを集める １９）第 12 課　会話の書き起こし ２０）集めたデータを分析する ２１）第７～12 課のまとめ ２２）集めたデータから論を立てる ２３）小説の文章から学ぶ ２４）レポートを書き上げる ２５）やや長い論理的な文章から学ぶ ２６）小論文の書き始め ２７）やや長い意見文から学ぶ ２８）小論文のまとめ、文末表現のいろいろ ２９）学んだことを振り返る ３０）小論文を書き上げる				
準備学習	テキストの読解部分の語彙を調べるなど予習をする				
教科書	『みんなの日本語　中級Ｉ本冊』ISBN978-4-88319-468-1				
参考書	『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』ISBN978-4-7574-1886-8 『トピックによる日本語総合演習』ISBN978-4-88319-501-5 『小論文への 12 のステップ』ISBN978-4-88319-488-9				
成績評価方法・基準	授業参加度　（40%）　　課題の達成度　（60%）				
備　　考					

科目コード	9152	単位数	1	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本の文化と歴史 a				
科目英語名	Japanese culture and history a				
担当教員	宮川　久美				
学修内容	・学びの場である「奈良」に関することについて様々な視点から理解を深める。 ・文字を持たない国であった日本にどのようにして文字が伝来し、どのように受容し工夫して日本語を表記することができるようになったかを知り、さらに現代日本語へどのように変化していったかを知る。				
学修成果	中国における漢字の発生を知る。日本にどのようにして伝わったかを知る。木簡、正倉院文書、金石文等に触れ、理解する。万葉仮名について知る。万葉仮名で書かれた万葉集を読むことができる。古事記を読み、いくつかのお話を知る。五十音図の歴史を知る。				
授業計画	１）文字の伝来とその受容―金印・貨幣・鏡等・木簡・付け札・文書等 ２）奈良時代の音声・音韻―万葉仮名と韻鏡 ３）奈良時代の文字―万葉仮名 ４）奈良時代の文字―変体漢文・宣命 ５）万葉集を読む ６）金石文を読む ７）正倉院文書を読む（月借銭解） ８）正倉院文書を読む（請暇解） ９）正倉院文書を読む（啓・帳簿） １０）古事記を読む １１）日本書紀を読む １２）平安時代の音声と音韻―あめつちの歌・たゐにの歌・いろは歌 １３）国語化した漢語―土佐日記・源氏物語・枕草子等より １４）五十音図・辞書 １５）まとめ				
準備学習	配付資料を見ておく				
教科書	指定しない。適宜プリントを配付する。				
参考書	適宜指示する。				
成績評価方法・基準	授業に取り組む態度、質疑応答、発言内容等による評価（30%）　提出物による評価（70%）				
備　　考					

科目コード	9154	単位数	1	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本の文化と歴史 b				
科目英語名	Japanese culture and history b				
担当教員	未定				
学修内容	・学びの場である「奈良」に関することについて様々な視点から理解を深める ・奈良の伝統行事の実際について、理解する ・伝統行事の現地に足を運び、行事を体感する ・伝統行事を「奈良の観光資源」の観点から、見つめ直す				
学修成果	奈良県下の伝統行事について概要を把握し、その由緒や意図を理解している				
授業計画	１）オリエンテーションと代表的な伝統行事の紹介（ＤＶＤを使用） ２）観光資源としての伝統行事（討論を含む） ３）身近な伝統行事①年中行事の紹介 ４）身近な伝統行事②お正月とお盆行事の紹介 ５）初春の伝統行事（祭りと芸能） ６）春の伝統行事（祭りと芸能） ７）夏の伝統行事（祭りと芸能） ８）秋・冬の伝統行事（祭りと芸能） ９）奈良の代表的な伝統行事①おん祭（春日若宮おん祭） １０）奈良の代表的な伝統行事②茅原のトンド（御所市・吉祥草寺のトンド） １１）奈良の代表的な伝統行事③お水取り（東大寺二月堂修二会） １２）古代瓦の拓本実習 １３）プレゼンテーションの準備①グループ討論と手元資料の作成 １４）プレゼンテーションの準備②模造紙による発表案の作成 １５）奈良の伝統行事についての発表				
準備学習	正規授業時間以外の機会に、必ず１度は「春日若宮おん祭」または奈良国立博物館における「おん祭と春日信仰の美術」の見学を行うこと（レポートの課題となる）				
教科書	適宜提示する				
参考書	導入（準備）　『日本人のしきたり』 飯倉晴武士著 青春出版社 標準（基礎）　『映像で見る 奈良まつり歳時記』 武藤康弘著 ナカニシヤ出版				
成績評価方法・基準	理解度（50%）　（プレゼンテーション含む）レポート（30%）　授業への参加度（20%）				
備　　考	コーディネーター：中村　恵、古海　忍				

科目コード	9188	単位数	1	開講時期	2016 年度 前期
科目名	日本語・日本事情Ｉａ				
科目英語名	Japanese・Japanese situation　Ｉａ				
担当教員	宮川　久美				
学修内容	様々な分野の記事を取り上げ、速読と精読を通して新聞で扱われている話題について理解し、日本文化・日本事情を知る。また、そこに出てくる語彙・語法を修得し、独力で新聞を読める力を身につける。				
学修成果	日本の伝統行事や日本の伝統食を知っている。現代日本の文化・教育事情・科学・経済・政治・法律・習慣・敬語・マナーについて理解している。				
授業計画	１）自己紹介・挨拶の仕方・マナーについて ２）奈良町を見学する ３）新聞に関す留基礎知識 ４）日常生活に関する記事を読む ５）春夏の年中行事に関する記事を読む ６）秋冬の年中行事に関する記事を読む ７）文化に関する記事を読む ８）教育に関する記事を読む ９）海外の出来事を取り上げた記事を読む １０）科学に関する記事を読む １１）最近話題になった事件に関する記事を読む １２）経済に関する記事を読む １３）政治・法律に関する記事を読む １４）社説やコラムを読む １５）日本の事情・自国の事情を比較して説明し合う				
準備学習	新聞を毎日どれか一紙読み、興味を持った記事をコピーして授業時に提出すること。				
教科書	受講者が持ち寄った記事や教員が用意した記事の中から適切なものを選んで教材とする。特に教科書は使用しない。				
参考書	内田安伊子・ 内田紀子著 『構成・特徴・分野から学ぶ新聞の読解』 スリーエーネットワーク（2008/10） 水谷修・ 水谷信子著 『新聞で学ぶ日本語』 ジャパンタイムズ; 改訂新版（2007/10/30） 木山三佳著 『ニュースで増やす 上級への語彙・表現』 アルク （2007/12） 神田靖子・山田あき子・佐藤由紀子著『日本語を磨こう―名詞・動詞から学ぶ連語練習帳』 古今書院（2002/10）				
成績評価方法・基準	授業における聞き取り、発話による評価（40%）　提出物による評価（60%）				
備　　考	第２回に学外見学を実施する予定。但し、進度によって実施する回は変更する可能性もある。				

科目コード	9190	単位数	1	開講時期	2016 年度 後期
科目名	日本語・日本事情Ｉb				
科目英語名	Japanese・Japanese situation　Ｉb				
担当教員	宮川　久美				
学修内容	様々な分野の記事を取り上げ、速読と精読を通して新聞で扱われている話題について理解し、、日本文化・日本事情を知る。また、そこに出てくる語彙・語法を修得し、独力で新聞を読める力を身につける。				
学修成果	日本の伝統行事を知る。日本の伝統食を知る。現代日本の文化・教育事情・科学・経済・政治・法律・習慣・敬語・マナーについて理解する。				
授業計画	１）新聞に関する基礎知識 ２）新聞の構成・読み方 ３）読者の意見や投書を読む ４）日常生活に関する記事を読む ５）季節ごとの年中行事に関する記事を読む ６）正倉院展観覧 ７）文化に関する記事を読む ８）教育に関する記事を読む ９）海外の出来事を取り上げた記事を読む １０）科学に関する記事を読む １１）最近話題になった事件に関する記事を読む １２）経済に関する記事を読む １３）政治・法律に関する記事を読む １４）奈良町を見学する １５）日本の事情・自国の事情を比較して説明し合う				
準備学習	新聞を毎日どれか一紙読み、興味を持った記事をコピーして授業時に提出すること。				
教科書	受講者が持ち寄った記事や教員が用意した記事の中から適切なものを選んで教材とする。特に教科書は使用しない。				
参考書	内田安伊子・ 内田紀子著 『構成・特徴・分野から学ぶ新聞の読解』 スリーエーネットワーク（2008/10） 水谷修・ 水谷信子著 『新聞で学ぶ日本語』 ジャパンタイムズ; 改訂新版（2007/10/30） 木山三佳著 『ニュースで増やす 上級への語彙・表現』 アルク （2007/12） 神田靖子・山田あき子・佐藤由紀子著『日本語を磨こう―名詞・動詞から学ぶ連語練習帳』 古今書院（2002/10）				
成績評価方法・基準	授業における聞き取り、発話による評価（40%）　提出物による評価（60%）				
備　　考	第 6 回、14 回に学外授業を実施する。ただし、進度によって実施回が変更になる可能性もある。				

科目コード	9196	単位数	2	開講時期	2016 年度 前期
科目名	試験対策Ｉa				
科目英語名	Japanese Language　Ｉa				
担当教員	青野　潤子				
学修内容	N4 レベルのまでの日本語を学ぶ。				
学修成果	N4 レベルの合格。N3 レベルの約 30%ができる。				
授業計画	１）第４１課までの文字・語彙 ２）　〃　文法 ３）　〃　応用練習 ４）第４２課までの読解 ５）　〃　聴解 ６）　〃　応用練習 ７）第４３課までの文字・語彙 ８）　〃　文法 ９）　〃　応用練習 １０）第４４課までの読解 １１）　〃　聴解 １２）　〃　応用練習 １３）第４５課までの文字・語彙 １４）　〃　文法 １５）　〃　応用練習 １６）第４７課までの読解 １７）　〃　聴解 １８）　〃　応用練習 １９）第４８課までの文字・語彙 ２０）　〃　文法 ２１）　〃　応用練習 ２２）第４９課までの読解 ２３）　〃　聴解 ２４）　〃　応用練習 ２５）第５０課までの文字・語彙 ２６）　〃　文法 ２７）　〃　読解・聴解 ２８）　〃　応用練習 ２９）N4 実践問題 ３０）N3 問題に挑戦				
準備学習	その日までに学んだことをよく復習しておく。				
教科書	「みんなの日本語　初級Ｉ第２版」ISBN978-4-88319-603-6 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版」ISBN978-4-88319-646-3				
参考書	「みんなの日本語　初級Ｉ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-604-3 「みんなの日本語　初級Ⅱ第２版　翻訳・文法解説」ISBN978-4-88319-664-7				
成績評価方法・基準	授業参加度（60%）　課題の達成度（40%）				
備　　考					

科目コード	9198	単位数	2	開講時期	2016 年度 後期
科目名	試験対策Ｉb				
科目英語名	Japanese Language　Ｉb				
担当教員	青野　潤子				
学修内容	N3 レベルの日本語を学ぶ				
学修成果	N3 レベルの日本語理解力と運用力をつける。				
授業計画	１）読解パート①　セクション１ ２）　〃　セクション２ ３）　〃　セクション３ ４）文字・語彙　２課までの復習 ５）　〃　４課までの復習 ６）　〃　６課までの復習 ７）文法　３課までの復習 ８）　〃　６課までの復習 ９）　〃　９課までの復習 １０）聴解パート①　セクション１（前半） １１）　〃　セクション１（後半） １２）　〃　セクション２（前半） １３）読解パート①　セクション４ １４）　〃　セクション５ １５）　〃　セクション６ １６）文字・語彙　８課までの復習 １７）　〃　１０課までの復習 １８）　〃　１２課までの復習 １９）文法　１１課までの復習 ２０）　〃　１３課までの復習 ２１）　〃　１５課までの復習 ２２）聴解パート①　セクション２（後半） ２３）　〃　② セクション１（前半） ２４）　〃　セクション１（後半） ２５）読解問題まとめ ２６）文字・語彙問題まとめ ２７）文法問題まとめ ２８）聴解問題まとめ ２９）N3 実践問題（前半） ３０）N3 実践問題（後半）				
準備学習	その日までに学んだ内容を何度も繰り返すなどして、身に付ける努力をする。				
教科書	「どんなときどう使う　日本語表現文型 500」ISBN978-4-7574-1890-5 「みんなの日本語　中級Ｉ本冊」ISBN978-4-88319-468-1 「新完全マスター　漢字　日本語能力試験 N3」ISBN978-4-88319-688-3 授業で資料を配付				
参考書	「読むトレーニング　基礎編」ISBN978-4-88319-324-0 「聴くトレーニング　〈聴解・聴読解〉基礎編」ISBN978-4-88319-371-4 「新装版　どんなときどう使う　日本語表現文型辞典」ISBN978-4-7574-1886-8				
成績評価方法・基準	授業参加度（40%）　課題の達成度（60%）				
備　　考					